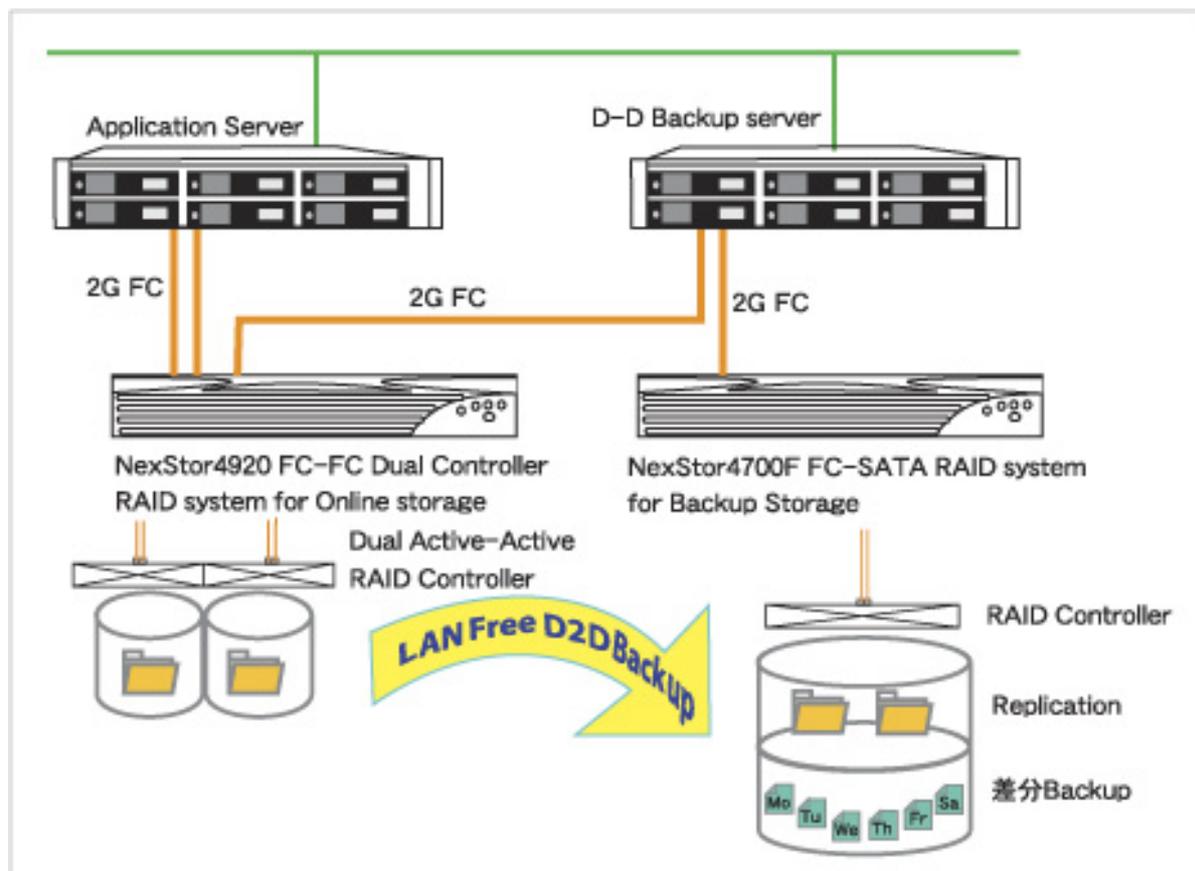


Hi-end Storage to Low Cost Storageへの D2D backup solution



FC-FC RAIDシステムをFC-SATA RAIDシステムに、
 ファイバーチャンネル経由(LAN Free)でバックアップ

ディスクからディスクにバックアップ/リストアー

ファイバーチャンネルをインターフェースに持つストレージを利用して、SAN(ストレージエリアネットワーク)を容易に構築することができることはご存知の通りです。また、シリアルATAドライブを採用したストレージは経済性に優れています。しかし、残念ながら、FCドライブや、SASドライブほど優れたコマンドサポート、キューイング機能を有していません。(当ホームページ/技術紹介/1項、FC, SCSI vs. SATAドライブ(pdf)を参照してください。) この意味で、データの更新が激しいエンタープライズレベルのストレージとしては、かならずしもベストなストレージとはいえません。

しかし、シリアルATAドライブは単体で250GB,300GB,400GB、更には、500GBの容量のドライブが販売されています。このSATAドライブを[NexStor4711F](#)や[OneStor5200/5000](#)に搭載することにより、上図のようにオンラインディスクのリプリケーションバックアップを採り、更に、余った容量で、1週間分の差分バックアップを採ることができます。

LAN Free (ファイバーチャンネルを利用して) バックアップ

LAN Freeとは、データをEthernetを介して転送するのではなく、SANのストレージネットワークを使用して高速に転送するという意味です。

バックアップソリューションにおいて、せっかくファイバーチャンネルのストレージを用意してSANを構築しても、実際のデータをアプリケーションサーバーからネットワークを介して、バックアップサーバーに転送したらSANを構築する意味がありません。しかし、バックアップ時にギガ・ビットイーサネットではデータ転送というのが現在のバックアップソリューションの殆どなのです。

弊社は、SANでの共有ボリューム化を行うことでLAN, Server Free化を実現します。オンラインディスクを常にバックアップサーバー上でもマウントさせておくことで、常に、ローカルディスクとしてマウントされたオンラインディスクのデータを高速にバックアップや、コピーをとることができ、また、万一のデータリカバリ時においても、リストア時間を大幅に短縮することができます。

優れたコストパフォーマンス

MICがご提案するLAN Free D2D Backupソリューションは、他に類を見ない強力なバックアップソリューションです。優れた性能、運用性に加え、高額なバックアップソフトウェアを使用しなくても容易にLAN Freeバックアップシステムを構築できる優れた経済性をもっています。しかも、万一アプリケーションサーバーがダウンした場合、Backupサーバーは直ちにクラスター化された代替えサーバーとしても利用することができます。

>>>>>>>[更に、LAN Freeでテープ装置にバックアップ](#)